

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 事故報告等のアドバイスを頂いているが同じような事故が後を絶たない。今後、課題としてどの様に事故を回避できるかを考えて行かなければならない。	同じ事故が起きないようにしていく。	話し合いを重ね職員同士 声を掛け合い事故が起きない様に徹底する。又、会議等で情報を共有して行き職員全体が見守りを徹底する。	6ヶ月
2	6	○身体拘束をしないケアの実践 少しふらつきがあったりするとすぐにセンサーマットを使用してしまいがちである。どの様に身体拘束をしないケアが実践できるかが課題としてある。	理解はしていると思うが勉強会を開催しより理解をしていく。	身体拘束やスピーチロック等拘束や虐待を研修など取り込んでいく。	6ヶ月
3	7	○虐待防止の徹底 スピーチロック等を徹底出来ていないことがある。課題として日々、注意し合える環境を作っていくことが課題としてあげられる。	社内研修や事業所内で研修を行い、虐待に関して理解を深めて行く。	虐待に関しての知識を付けていく。又、社内研修や事業所内での研修を徹底して行う。	6ヶ月
4	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看取りを怖いと思う職員もおり、不安を抱える職員もいる。看取りとはどうゆうことかを理解することが課題としてあげられる。	医療連携の医師や看護師に協力して頂き理解をする。	家族様にも理解をして頂き職員もしっかりと理解できるようにする。	6ヶ月
5	49	○日常的な外出支援 日常的に外に出る機会が少ない。職員間での連携が課題としてあげられる。	外出が出来るような環境を整える。	職員間での連携を取り、家族様の協力をお願いし、外出が出来る環境を提供できるようにする。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。